

12月の園だより

https://jyozan-k.com

R 5 . 1 1 . 2 7
幼保連携型認定こども園
城山幼稚園



動物園親子遠足、大変お世話になりました。気候のいい日もあったという間に過ぎ、早いもので年の瀬のあわただしさが感じられる師走を迎える頃となりました。最近、朝夕の寒暖差も激しくなり体調を崩すお友達がいるようです。朝から体調が悪い場合は、無理に登園せずに体調を整えてから登園されるようご協力お願い致します。また、ご家庭でも手洗いうがい等を励行して、健康管理には十分気をつけ元気に過ごしていきましょう。

◆12月の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	金	
2	土	土曜預かり保育
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	西高野球部来園
8	金	おたのしみ会準備 お弁当デー
9	土	おたのしみ会
10	日	
11	月	
12	火	避難訓練(地震) ソーシャルワーカー来園
13	水	
14	木	
15	金	預かり保育等封筒配布
16	土	土曜預かり保育
17	日	
18	月	預かり保育等納入期間
19	火	
20	水	体験保育 ↓
21	木	
22	金	クリスマス会 終業式
23	土	土曜預かり保育
24	日	
25	月	冬休み預かり保育
26	火	日本眠育推進協議会シンポジウムZOOM
27	水	
28	木	御用納め
29	金	
30	土	
31	日	大晦日

※平日の預かり保育は、利用週の前週の金曜日が提出期限です。

※土曜日の預かり保育は、利用週の木曜日が提出期限です。

熊本西高校野球部のみなさんが、地域貢献活動の一環として、子どもたちにボールやバット等を使った遊びを教えてください。16時00分～「みどりの広場」で開催予定です♪

冬休み預かり保育について

年末の預かり保育は、12月23日(土)
25日(月)
26日(火)
27日(水)
28日(木)
年始の預かり保育は、1月4日(木)
5日(金)
6日(土)

上記の日程で、希望者・冬休み預かり保育を行います。預かり保育ご希望の方は、下記QRコードからお申込み下さい。

12月1日(金)×切

締め切り後の受付は行いませんのでご注意ください。

※冬休み預かり保育は700円(1号認定のみ)土曜日預かり保育は(1号認定700円、2号認定300円)の14:30降園です。14:30以降の預かり保育は別途500円が必要になります。

(1号認定のみ)

※不明な点は職員へお聞き下さい。



お知らせとお願い

○1月(前半)の日程について

- 9日(火) 始業式 鏡開き会
- 10日(水) 記念写真撮影(全園児) ※345歳児制服、白ソックス
- 11日(木) 1日先生(中止)
- 12日(金) ふれあい会(中止)

○制服等の値上げについて

- 12月から、体操服ズボンと遊び着代が値上がりします。11月中の注文まで、現在の価格で提供できます。
- 1月から制服、カバンが値上がりします。現在の価格での購入を希望される方は、12月22日終業式の日までにご注文をお願いします。

○第7回日本眠育推進協議会シンポジウムZOOMのご案内(12/26)

当園でも大事にしている子どもたちの睡眠。「概日リズム体内時計」形成は、すでに胎児期から始まり、乳幼児期早期に中枢時計として脳の発達に大きく関わると言われています。今回5名の睡眠の専門家の方のお話が聞ける「眠育シンポジウム」保護者のみなさまも是非一緒に聞いて見られませんか。時間帯は13時～17時ですが、1分野だけの参加でも構いません。オンラインですので気軽に参加いただけますよ。ご興味ある方、是非お声かけください。

おたのしみ会の意図☆☆☆

「おたのしみ会」という行事について、プリントや職員のブログ等でお伝えしております通り、この行事は「表現」と「言葉」の領域における発達を、保護者の皆様に見てもらいものです。子どもたちがどのように発達していくのか、できるだけその過程も見たいため、プログラムの順番等もこだわります。おおむね年齢によって現れる発達のポイントをおさえ、下記のような様子を見て頂こうと発表内容を構成しています。

- 0歳児・・・「保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとしたり、一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。」
- 1歳児・・・0歳児の表現に加え、「動物や乗り物などの動きを模倣して、体で表現する。」「普段の保育室のように舞台上に並べられたいすの中から、貼ってある写真によって自分のいすを見つけて座る。」
- 2歳児・・・「みんなで一緒」仲間と群れることを楽しむようになります。日々の生活の中で「待つこと」「順番」「貸し借り」「一緒」「我慢」などの力が付いていきます。
- 3歳以上・・・「遊び」自体が子どもにとっての「表現」。乳児から行動として表れる「表出」から、「意識して」表現するようになります。その意識が何かに刺激されての意欲。そこに大きく影響しているのが「少し年上の子からの刺激」異年齢保育で互いに多くの刺激を受けながら日々を送っている子どもたちの表現は様々です。